

農業経済学特論演習Ⅱ (2単位)

担当者氏名 吉野馨子

◆学習・教育目標

本講義は、農業経済学専攻の大学院生が、修士論文等を視野に調査研究をおこなう前提として、環境と農山漁村、地域社会に関する基礎的な事項と課題を学ぶことを目的としている。本講義では、国内及び第三世界の農山漁村における地域環境への働きかけと持続的な利用の形態に注目し、その仕組みと変容、そして地域の課題を解決しようとする取り組みについて学ぶ。中心的なテーマは、農と食をめぐる農村―都市問題である。授業では、講師が用意する専門書や論文の輪読及び、テーマに沿って受講者が資料作成及びプレゼンテーションをおこない、その内容についてディスカッションを行う形式で進める予定である。

受講生は、地域の自然と地域資源を生かした持続的な利用のあり方や、地域の課題を解決しようとする取り組みについて理解することを到達目標とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

農 食 農村―都市問題 有機農業運動
 地産地消 都市農業

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	総論 (1~2回)	農と食をめぐる農村―都市問題	各自の興味あるテーマ、論文の選択
2		本講義のねらい。受講生の研究課題	
3	テーマ1 地産地消運	地産地消の背景と多様な展開	プレゼンテーションの準備、配布資料の予習、復習
4	動 (3~6回)		
5			
6			
7	テーマ2 有機農業運	有機農業運動の背景と多様な展開	毎回、教員の指示に従い、1時間~2時間程度の予習・復習を行うこと。
8	動 (7~10回)		
9			
10			
11	テーマ3 都市住民と	農村―都市交流、市民農園・クラインガルテン 市民農の取り組み、CSA(コミュニティが支える農業)	
12	農の関わり (11~14回)		
13			
14			
15	まとめ	総合討論	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

プレゼンテーション、議論への参加、レポートの提出等から総合的に評価する。

◆オフィスアワー

火曜日、10:30~12:00、水曜日 14:50~17:00

◆その他受講上の注意事項

必要に応じて、講義中に指示するので留意されたい。
